

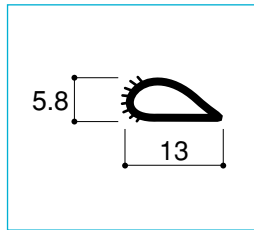
シリコンタイト

■ 従来の常識を覆した新しいタイプの枠付け戸当りゴム

- ◎ 枠のポケットが不要で、コストは低減され製作時間も短縮できます。
- ◎ テープを剥がして貼るだけなので、取り付け簡単。
- ◎ 扉が閉まる時の大きな衝撃音を吸収。隙間風や風切り音も解消します。
- ◎ ゼロ・オートマチックタイトを併用すると、一層野の密閉効果が期待できます。

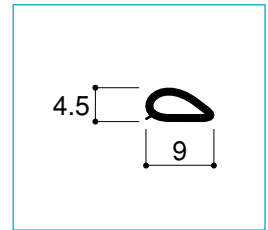
No.818

色： W (ホワイト)
BK (ブラック)
BR (ブラウン)

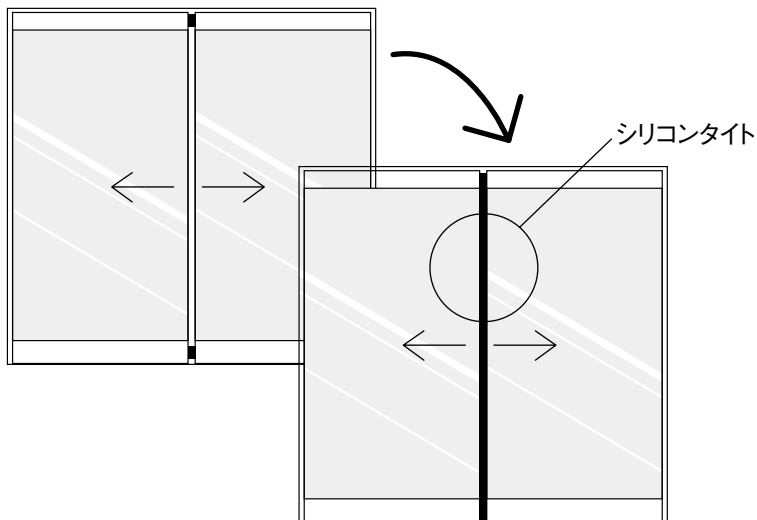


No.808

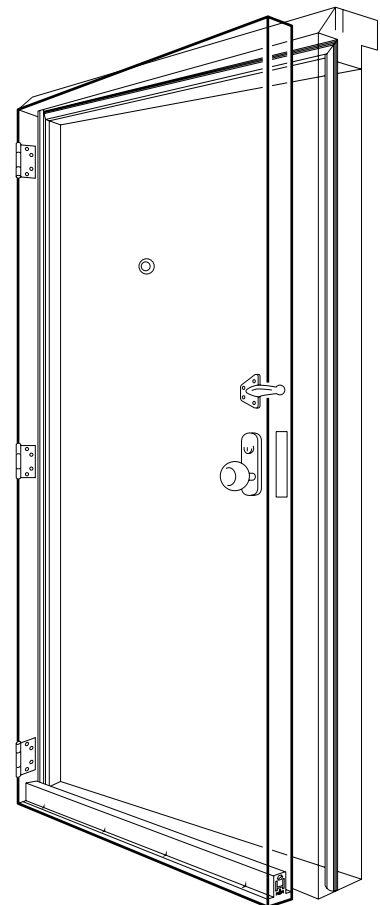
色： W (ホワイト)
BK (ブラック)
BR (ブラウン)



引戸の召し合わせの隙間に



三方枠の戸当りとして



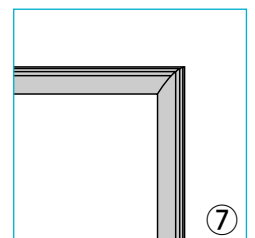
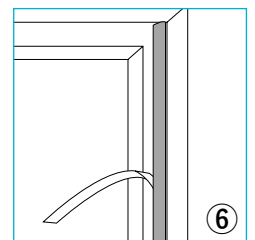
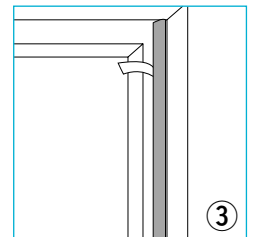
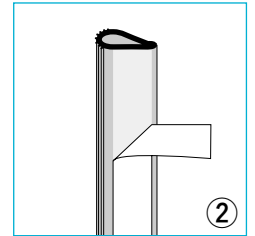
※押し型形成のため、寸法が多少異なることがあります。
※取り付けに際しては、次ページの取付説明をご参考して下さい。

シリコンタイト取付説明

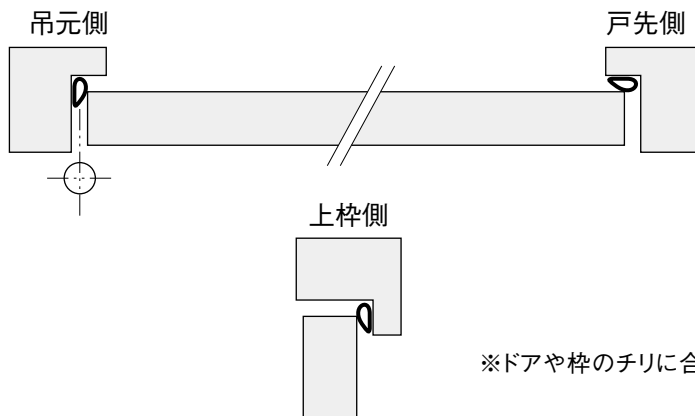
- 扉が閉まるときの衝撃音を緩和させる戸当りとしてご使用のときは、戸先側に取り付けてください。
- 上枠と扉の隙間が気になるときは、戸先と上枠に取り付けてください。
- 最も効果的にお使いいただくには、三方の枠全てに取り付けていただくことが一番です。

取付方法

- ① 取付ける面のほこり、水、油などの汚れをよく拭き取ります。
- ② シリコンタイトの先端部分から養生テープを約20mm程度剥がし、横に90°に折り曲げます。
- ③ 接着面を戸先側の枠の一番上部に仮付けします。
- ④ たて枠一杯にシリコンタイトを垂らし、扉を閉め錠前のラッチが正しく掛るかを確認して下さい。
※一度接着したシリコンタイトは、剥がすと接着力が弱くなります。
必ず仮付けの状態でラッチが掛ることを確認してから取り付けて下さい。
- ⑤ ラッチが正しく掛らないときは、ドアクローザーのラッチスピードを少し速めるよう調整して下さい。
スプリングヒンジをご使用の場合も同様です。
- ⑥ 上部より徐々に養生テープを剥がしながら、指で2度づつ圧着させて下さい。
- ⑦ 次に上枠に取り付けます。コーナーは45°留めがきれいな仕上がりです。
- ⑧ 最後に吊元側に取り付けます。戸先側と同様③～④の手順を行って下さい。

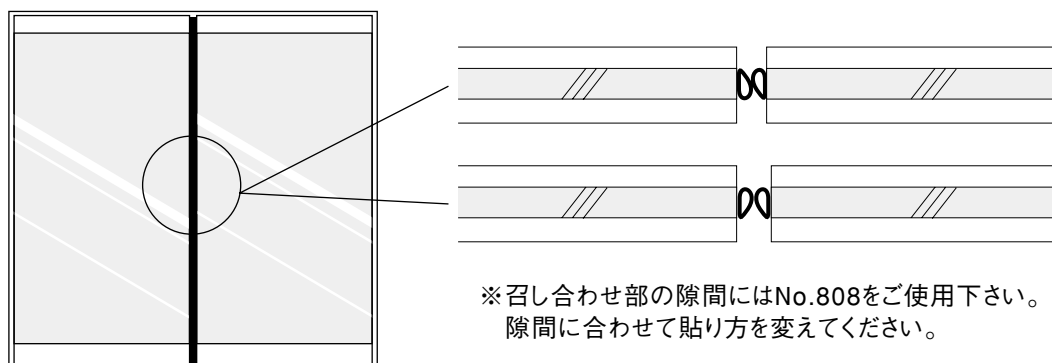


正規付



※ドアや枠のチリに合わせて、貼付け面を変更して下さい。

自動ドアへの 使用例



※ 召し合わせ部の隙間にはNo.808をご使用下さい。
隙間に合わせて貼り方を変えてください。